

討 論

遠野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について

〔反対〕

小松 大成 議員

議案 97 号条例制定は、教育三法の地方教育行政法の特例により、文化に関する事務を教育委員会から市長へと変更しようとするものである。一見合理的な行政手法と思われるが、国会の場でも議論されたように、地方自治体の首長を通じて教育分野である社会教育に、国家権力の干渉を招きかねない危険性を伴うものであり、本条例案に反対する。

〔賛成〕

浅沼 幸雄 議員

国では今年度、自治体が新たな町づくりに取り組む際に、市長部局が文化も含めた総合的な施策を展開することにより、より大きな力となり得ることができるよう、法改正を行った。市では、その趣旨を理解し、今回の条例提案となったものと思う。加えて「遠野物語発刊 100 周年記念事業」とも併せ、新たな町づくりの出発点となることを期待し、賛成討論とする。

1月臨時会

平成 21 年 1 月臨時会が 1 月 9 日に開催され、下記議案を原案のとおり可決しました。

その中の平成 20 年度遠野市一般会計補正予算(第 7 号)では、遠野市地域連携型緊急雇用創出事業について質疑が交わされました。

また、議員発議による遠野市立中学校再編成調査特別委員会の設置を可決しました。

議 案

- 平成 20 年度遠野市一般会計補正予算(第 7 号)
- 遠野市立中学校再編成調査特別委員会の設置について

- ・遠野市立中学校再編成調査特別委員会の委員長及び副委員長の選任
委員長 新田 勝見 議員 副委員長 佐々木 譲 議員
- ・委員会設置の目的
- ・議会として市民からの声を幅広く聞く機会を設け、これからの中学校のあり方、生徒の教育環境、地域のあり方等、中学校再編成がどうあればいいのかを検証し、今後の議会活動に反映させることを目的とする。

職員の不祥事の再発防止を



菊池 民彌 議員

【質問】相次ぐ職員の不祥事に対する市の対応について伺う。

【市長】公金の不適正取扱いを発見できず残念だ。職員の法令遵守等意識の高揚等に努め、モラルの向上、チェック機能強化で再発防止に全力を挙げ、信頼回復に努める。

【質問】平成 21 年度の市財政の見通しについて伺う。

【市長】健全財政の取り組み強化によるスクラップ・アンド・ビルドの徹底等を予算編成の重点にして取り組む。世界的経済不況は、本市にも影響が現れている。中小企業融資枠拡大のため補正予算を今議会に提案する。市税の見通しでは、法人市民税及び固定資産税の減が見込まれ、前年対比で 5%、金額で約 1 億円程減少する見込みである。市長選は、年度半分を過ぎる 10 月に予定されている。当然骨格予算でなく、通常予算を編成する。

【質問】スポーツ健康都市の宣言について提言したいが。

【市長】スポーツ健康都市の宣言、発信は必要と捉えている。遠野らしさ、遠野にふさわしい発信の仕方、方法をよく考え、関係団体と連携を図り進めたい。

【質問】全国学力テストの実施結果について伺う。

【教育長】市内の小 6、中 3 のテスト実施結果については、小 6 は国語、算数 A・B とも県の平均を下回った結果となっている。なお、県の平均は全ての項目で全国を上回っているが、その中で遠野は全国と比較し上回っているのは国語 A のみであり、他は全国を下回り、特に数学 A は全国・県との差が大きく、市としての課題と捉えている。市の平均は、小 6 の国語 A・64.7 点、B・49 点、算数 A・72.4 点、B・48.8 点。中 3 の国語 A・74.8 点、B・60.7 点、数学 A・56.8 点、B・47.3 点となっている。



▲スポーツ少年団の少年たちの活発な活動風景